

第 31 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2016 年 1 月 19 日(火) 10:00~12:00
場 所：陸前高田市コミュニティホール 中会議室
出席者：19 団体 28 名
進行：酒井（事務局）
文責：佃（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

➤ 平成 27 年度支援概況調査について

前身であるネットワーク連絡会の時から、市内団体の支援活動の調査を行ってきたもの。昨年と同じ形式（統計情報と記述式のアンケート）で今年も実施するので、ご協力をお願いします。

●対象期間：2015 年 2 月~2016 年 1 月

●スケジュール：

- ・調査開始ー1 月 22 日（金）事務局よりフォームを送付
- ・回答締切ー2 月 29 日（月）→随時、集計作業を行い、4 月に共有予定。

※プラットフォームのポータルサイトに過去のデータが掲載してあります。

震災後 5 年間この調査を行ってきたが、本年度をもって「支援概況」という調査は一区切りにする。今後の継続の有無等に関しては、これから検討していく。

➤ 来年度の支援連絡調整会議に向けて

今年度は 3 グループの分野別議論を継続してきたが、さまざまな動きに合わせて形も変えていく必要がある。中でも、参加するみなさんにとってどういうものであるかという部分が大事。そこで今回のアンケートに、支援連絡調整会議についての設問を設けているので、率直な意見をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

2. 活動報告（全体）（10:05~10:50）

・全参加団体より活動報告、および今後の活動やイベント告知などを共有。

質問あれば適宜。各団体 2~3 分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 31 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1	高田大隅つどいの丘 商店街／山本	商店街は、全 13 事業者で営業を続けている。 6/5（日）に商店街が 4 周年を迎える。仮設の建物の使用期限が 5 年となっているので、今回で一区切りとなる。きらり
---	---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

		んきっず主導で防災企画を計画中。詳細は未定、提案や一緒に何かやりたい案があれば連絡をお願いします。
2~3	もっちいと森の仲間たち／望月	<p><12月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーブ・ザ・チルドレンの最終活動報告会に参加。 ・毎月8のつく日に大船渡夢商店街でおしるこのふるまいを行っている。12/18は2015年最後の実施となった。 ・下和野災害公営住宅の餅つきの裏方を行った。杵と臼を「まつ」の佐々木さんからお借りし実施。大学生も含め約70名が参加。 <p><1月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県から送られてきたゆずを配布。 <p><今後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課と協力して、赤羽スキー場に子どもたちを連れて行く企画が具体化してきた。 ・モビリアの畑の電気柵の補強をする。
4	ジャパン・プラットフォーム／高久	<p>緊急人道支援を行うNGOで、東日本大震災支援をきっかけに国内で初めて活動をしている。主な活動は、連携調整と資金助成。</p> <p>前回の「共に生きる」ファンドでは、全体で32件の応募があり6件が採択された。岩手県からは5件の応募があったが採択はなし。「共に生きる」ファンドは、今年度残り1回で終了予定だったが、もう少しニーズがあるだろうということで、来年度プラス2回追加となり、合せてあと3回実施。次回応募は、2/2(火)~9(火)受付(4/1活動開始事業対象)。</p>
5~7	大船渡地域振興センター／柁屋	<p>復興推進課では、被災者相談支援センターでの相談対応や復興の情報発信を行っている。地域振興課では、観光関係一般を担当している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者相談支援センター <p>12月の相談件数は79件。内60件は相談員が直接対応。専門家相談は、12月は祝日があったこともあり3件だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ <p>①被災者相談支援センターだより ②いわて復興だより ③いわて三陸復興フォーラム：是非お越しく下さい。 ④いわて復興のあゆみ(冊子)：県の復興局が、県内外や海外に向けてこれまでの5年間の取り組み紹介や風化防止の</p>

		<p>ためにまとめたもの。是非ご活用ください。必要があれば必要な部数をお渡しできます。</p> <p>⑤2月の住宅再建相談の予定：2/6（土）7（日）は大船渡のリアスホールで開催。通常の住宅再建相談会に加え、地域型復興住宅に関する展示や住宅メーカーの展示や相談も出来るイベントになっている。2/21（日）午前中はコミュニティホール、午後は長部コミセンで開催予定。</p>
8～9	陸前高田まちづくり協働センター／三浦	<p>地域づくりの支援と市民活動支援として、団体の方や何か始めたいがどういう風に始めたらいいのかと迷っている個人の方たち、いろいろな方たちの活動の背中を押せるような支援を続けている。</p> <p>ここ最近では、住民のグループからの要望で、ワークショップのファシリテーター派遣の依頼があり今月は2件、来月1件と予定が入っている。</p>
10～12	NEC ネットズエスアイ／池田	<p>今年も場所貸しを継続。新たに、三陸の良さを知ってもらうための企業化の支援や地元密着したビジネスの展開に力を入れていきたい。</p> <p>1/23（土）～2/20（土）までの毎週土曜日（全5回）に、生涯学習課と「デジカメ講座」を開催予定。</p>
13	夢ネット大船渡／河野	<p>仮設住宅や災害公営住宅で手芸講座を行っている。今年も継続する。</p>
14	陸前高田市教育委員会生涯学習課／田中	<p>世代に関わらず学習機会の提供や子どもの学校以外での教育を行っている。</p> <p>今年度から始めた、土曜子ども教室「たかた子どもキャンパス」は、ほぼ毎週土曜日コミュニティホールで活動している。</p> <p>1/16は、米崎町の着付けの先生を招いて着物を着て正月遊びを体験。2月にはもっちいさんと共に、遠野での雪遊びを計画。今後もさまざまな団体と関わりながら子どもたちに体験の場を提供していきたい。</p>
15	陸前高田市被災者支援室／阿部	<p>住宅再建に関わる補助金の申請相談や申請受付、また住宅再建に関わる相談対応も行っている。</p> <p>毎月第2土曜日に岩手県行政書士会による「なんでも相談会」を開催している。</p>
16	いわて生活協同組合／池田	<p>12/29いわて生協と関西の3生協で、主にふれあいサロンを行っている仮設住宅市内約10か所で昼食会を開催。関西の3生協からは、おせち料理を提供いただいた。12/14は大船</p>

		渡、12/30は大槌で同様に開催した。 1/29（金）にキャピタルで「復興コンサート」を開催予定。
17	パクト／桑久保	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援活動 ・復興サポートステーション事業 ・二又復興交流センターの宿泊施設の運営事業 <p>二又復興交流センターで、市の観光物産協会と商工観光課が共催で行う VISIT TAKATA プログラム（外国人観光客の誘致に関する勉強会）に参加している。東北に向かう外国人観光客が増加傾向にあると統計が出ているとともに、岩手県自体が外国人誘致に積極的に取り組んでいることもあり、我々もその流れを引き寄せたい。</p>
18	いわて連携復興センター／葛尾	<ul style="list-style-type: none"> ・2/4（木）13:00～17:00 コミュニティホール大会議室で「第13回現地会議」を開催予定。テーマは、地元 NPO と地元企業の連携に着目する。詳細はホームページをご覧ください。 ・2/19（金）13:00～17:15 盛岡のマリオスで「寄附募集セミナーと認定 NPO 法人取得セミナー」を開催予定。こちらも詳細はホームページをご覧ください。
19	陸前高田市社会福祉協議会／安田	仮設住宅や災害公営住宅に生活支援相談員が訪問活動をしながらか話を聞いてサロン活動を行っている。また、地域のつながりづくりとして、今後完成予定の災害公営住宅（大野・田端・栃ヶ沢）に関する支援、高台・防集でたくさんの方々が移動する中で、どのようにコミュニティの再形成をお手伝いしたらいいかヒントをいただきたく参加した。
20	教育支援チーム「まつ」／佐々木	小友地区を拠点に学校支援・子どもたちの見守り活動・先生方の居場所づくりの運営・学校に行きにくい子どもたちのフリースペースの運営を行っている。
21～22	陸前高田市復興支援連絡会／志賀	<p>仮設住宅のサポートとして、お茶会の運営と自治会のサポート・見廻り、市内外の支援団体や個人の支援のマッチングを行っている。</p> <p>1/12 小友コミセンで「健康づくり教室」（NPO フォーラム 21 主催）を開催。大変好評で追加開催を検討中。</p> <p>クリスマス時期ということで、支援物資の依頼が多かった。中でも、アメリカのシー・フォー・イーストからチョコレートの配布依頼があったが、海外からの送付やり取りに苦労し、結局到着が年明けとなったが仮設に配布できた。その他、クリスマスプレゼント（お菓子・蕎麦）の配布依頼や手編み</p>

		<p>の物資がたくさん届いた。</p> <p>1/22（金）・25（月）に Arts for HOPE による「ハッピードールプロジェクト」、また大船渡保健所と連携し「はまかだ教室」を数カ所で開催予定。</p>
23	りくカフェ／齊藤	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期のスマートクラブを随時開催中。定員8名のところ9名の申込みがあり、みなさん意欲的に学ばれている。今後も第5回等を予定している。 ・食育プロジェクトを推進中。子育て中のお母さん方が、実際に管理栄養士から子どもたちのための食事について学ぶ教室。今後、調理実習の回を2～3度予定している（定員に余裕あり）。 ・1/27（水）ランチタイムにジャズコンサートを予定。
24	ワーカーズコープ／勝沼	<p>ネットワークを広げたいという想いで初参加。</p> <p>現在、市内で直売所の運営と高齢者の生きがいづくり・サロン活動を行っている。嵩上げ工事のため、旧森前地区から竹駒のBRTの駅の隣に移転。</p> <p>生きがいづくりの一環として、市内で共同農園という形で高齢者と農作業をしたり、農産物を販売食べるなどしている。</p>
25～27	遠野山・里・暮らしネットワーク／佐藤・林	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会と連携し、仮設から公営住宅また住宅を再建した方の引越しのボランティアを11・12月とやってきたが今年はまだない。3月以降公営住宅が出来てくるので行う予定。 ・1/11 大阪から三味線と踊りの方が来て中田公営住宅でイベントを開催。20名くらいが集まった（内、男性は5～6人）。午後は滝の里で開催。 ・中田公営住宅で「うまいもの交流会」を行う予定だが備品がなく他から借りなければならない状態（ストーブはある）。 ・観光や交流人口を増やす目的で、遠野で3年程山・里が事務局になり民泊を行っている。2/6（土）～7（日）民泊を利用して、被災地調査をした東洋大学やインターンで来ている法政大学の学生の発表もあるので、良かったらご参加を。
28	陸前たがだ八起プロジェクト／蒲生	<p>モビリア仮設住宅を中心に、小友地域のコミュニティのエンパワーメントをやっている。</p> <p>「男の料理教室」を毎月開催し計50回になる。その中で、高田病院の院長先生から脳卒中率 No.1 である岩手の中でも陸前高田市は高く、特に広田・長部地区が更に高いという細</p>

		<p>かい分析があった。そこで、一緒に行っている味の素さんと共に減塩に取り組んでいこうとシフトチェンジしていく途中。また畑作業等、モビリアクラブで軽運動体操を行っている。</p>
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------

3. 活動分野毎の討議・意見交換（グループ議論）

<1G 地域・コミュニティ>

➤ 意見交換

・新しいコミュニティづくりについて

県営の栃ヶ沢災害公営住宅（300戸超）の入居が来年度始まる等、人の移動が発生する年になりそうだ。そこで、良いモデル事例として、大船渡の長谷堂地区で行われた事前の交流会が挙げられた。事前に顔合わせの機会があることはもちろん、この地区の場合は、受入れる側の地区住民が中心になって交流会を開催した点がすごく良い。陸前高田の場合は、既存の地域（受入れ先の地域）も震災で大きなダメージを受けているので、新しい人たちを受け入れたい気持ちはあるが自分たちも大変だという状況なので、長谷堂地区の事例をそのまま取り入れることは難しい。県営になるので、どこが自治会等の設置・支援の担当になるかについて等、今回出た情報だけでは分からないので、各自持ち帰り次回も継続して議論していく。

<2G 子ども・教育／女性・子育て>

➤ 意見交換

・団体間、また団体と行政間の連携について

上手くいった事例（この会議で生まれた連携も含め）を基に、どうして上手くいったか等を振り返る中で、“子どもたちに良い体験をさせたい”という共通の想いやNPOとしてのアイデアの提案から良い方向に進んだものもあった。

これからは、さまざまな情報を持ち寄りながら、この会議に参加出来ない団体ともつないでいけるよう動いていきたい。

・今後の支援の在り方について

自分たちの活動が元気であるというのは良いことだが、いつまでも元気というのは正常ではない。自分たちが活動しつつ、地域や子どもたちに活動を知ってもらいながら引き際を見極めていくことが必要になってくる。今後の担い手として、高田高校の生徒と関わっていけたらと考えている。

<3G 商工・観光・産業・その他>

➤ 「高田の復興を振り返る資料作成について」提案

- ・震災から5年、各団体の活動がどのように展開してきたのか、市全体の動きに併せてどのようなニーズがありNPOがどのような対応をしたか、また、どのような変化

があったか等が分かる一覧があれば良いのではないかと議論してきました。
みなさんには、発災以降の各団体の活動の変化や変化したタイミングを教えていた
だきたい。いただいた情報をまとめるためのワーキンググループを立ち上げる。1
～3G 各分野でまとめを作成する案も出ており、今後ワーキンググループで詳細を進
めていきたいと考えているので、是非ご参加ご協力をお願いします。ご協力いた
だける方や団体があれば、プラットフォームまでご連絡をお願いします。
もし、メンバーが集まらないようであれば、3G のまとめだけでも作成していきたい
と考えている。

《質疑応答》

> みんなにお願いしたいことは？

ワーキンググループに参加して欲しい。

詳細は未定だが、場を設けるので、まずそこに参加してください。

また、参加出来なくても、情報提供のご協力をお願いしたい。

> 参加したいときにどこにどのように連絡すればいいか？

プラットフォームのアドレスに連絡を頂きたい。

> まとめは年表の様にグループごとに作っていくというイメージなのか？

3G で出た案だが、そのように出来たらと考えています。

> これから新しく作るのではなく、既にある資料でも良いのか？

お持ちの情報があれば、それでも構わない。

> PF に参加されている団体となっているが、我々だけでしょうか？

基本的には、調整会議に参加されている団体。

【次回の開催日程】

- ・ 第 32 回 支援連絡調整会議

2月16日（火）10：00～12：00 ※会場及び詳細は別途連絡